

# 事務事業評価

平成 26 年度

担当課	しまばら観光おもてなし課		
-----	--------------	--	--

基本事項	事務事業名	島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料				整理番号	1501				
	根拠法令等	地方自治法第244条、第244条の2、条例			実施を義務付ける規定		<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし			
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第4章 安全・安心と安らぎの環境を整える 節 第3節 住環境の整備		予算科目	7 款 1 項 3 目		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 新規			
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)		市民の健康増進、観光振興及び中心市街地の活性化を図るため、平成20年4月に島原温泉ゆとろぎの湯をオープンした。公の公衆浴場として市民の平等な利用の確保、円滑な運営及び施設設備の維持管理を行い、民間の能力を活用した事業運営を行うため民間事業者による指定管理を行った。				事業区分	市民サービス事業			
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)		市民憩いの公衆浴場として、利用者の意見や要望を反映させた利用者本位の運営を行うとともに、効率的な事業運営と環境負荷の低減と施設の保全に努め運営費の縮減に努める。								
	目的達成のための具体的手段・方法		温泉施設だけでなく、駐車場、足湯の3つの施設管理を合理的に行い、管理運営に関する経費の削減に努めるとともに利用者の拡大を図り、地域のサービス向上と健康増進に寄与する。 ・歩行湯の利用者増対策としてインストラクターの活用 ・テレビ、ラジオ、雑誌等によるPR ・夏季の時間延長 ・お盆、正月の定休日営業 ・足つぼマッサージ ・観光施設等への割引券配布 ・イベント、スポーツ大会の協賛等								
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)		名称等(内容)				単位	24年度	25年度	26年度	
			① 指定管理料の削減				目標	円			13000
							実績	円	11000	10000	
			②				達成率	%			0.0
							目標				
	活動指標 (目的達成のために行った活動実績)		①利用者の拡大(1日平均) H23→目標240人 実績258人 H24→目標245人 実績257人 H25→目標250人 実績250人 H26→目標230人				目標	人	245	250	230
							実績	人	257	250	
②				目標							
				実績							
区分			年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
事業費等の推移	①直接事業費(千円)	実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画				
		10,000	12,000	11,000	10,000	13,000	10,000				
	国 県 支 出 金										
	地 方 債										
	そ の 他										
	一 般 財 源	10,000	12,000	11,000	10,000	13,000	10,000				
	②従事職員給与費 $b_1 \times b_2$	2,724	1,447	728	721	732	0				
	従事職員数(人) $b_1$	0.38	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10				
	職員平均人件費 $b_2$	7,168	7,236	7,277	7,213	7,317					
	事 業 費 合 計 ① + ②	12,724	13,447	11,728	10,721	13,732	10,000				

## 【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 近隣の温泉宿泊施設が新規・リニューアルでオープンによる影響を受け利用者は減少。施設が若古くなり民間との競争力が低下してきている。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 当所から指定管理をしている	-
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 民間による指定管理を行うことで市民のニーズを的確にとらえ民間レベルでの対応をするためには、リニューアルなどの設備投資が必要となる。	B
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 指定管理料は当初より削減しているが、今後の展開としては厳しくなって行くことが予想される。	A
	⑤事業効果をさらにあける余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 事業開始から6年を経過し、ガス加温設備の燃焼効率が悪くなる等、施設全体の不具合がみられており、民間施設であればリニューアルの時期。	B
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 事業活動指標は達成されているが、来年度以降指標の下方修正が必要となる可能性が高い。	A
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 指定管理者は、人件費のカットを含めかなりの経費削減を行っている。PR活動など積極的に行なうが、経費削減策は、施設の魅力アップにはつながらない。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 温泉給湯事業の所管として、しまばら観光おもてなし課で担当している。無料の施設(足湯)の管理運営も行っており、一部改善の余地について協議する。	B
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 新しい温浴施設、入浴料の安い他施設へ、利用者が流れ減少傾向となっている。料金設定と設備投資が今後の課題と思われる。	B
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	A
			判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算
			2.44

## ◎ 総合自己評価（所管部署）

評価結果	<input type="radio"/> A 継続実施(段階の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input checked="" type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input checked="" type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	判断理由	平成20年のオープンから6年目となり、経年劣化による修繕・燃料代の増加。 適切な維持管理により、経費削減に努めるとともに、定期的なリニューアルなどの設備投資による利用客の回復を図る必要がある。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) 高齢者は、福祉関係との敬老事業により、利用客は増加しているが、一般客が減少している状況。空調や温水のガス加温では、設備の燃焼効率が悪化して来ており、魅力アップによる先行設備投資について指定管理者と協議していく必要がある。		

・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行うまでの今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。  
・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。

## 【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善	▼
備考	民間の新規入浴施設のオープンや燃料代の高騰などによる経営の悪化は理解できるが、他の入浴施設に無い「歩行湯」の有効活用、健康対策に特化する施策などの工夫により利用者増を図られたい。	

## 【3次評価】

総合判定	▼
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況			
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減	
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)		3,000 (千円)